

平成29年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「バフ・ベイ公立小学校通学バス整備計画」および
「アイリス・ゲリー公立小学校雨水供給設備整備計画」贈与契約署名式

2018年2月7日、山崎大使は、教育・青年・情報省にて行われた、平成29年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「バフ・ベイ公立小学校通学バス整備計画」および「アイリス・ゲリー公立小学校雨水供給設備整備計画」の贈与契約署名式に出席しました。

1904年にポートランド県バフ・ベイ地区に設立されたバフ・ベイ公立小学校では、同県の公共交通システムが不十分なため、山間部から通う児童や低所得家庭出身の児童が、日々の通学に問題を抱えています。公共交通機関の本数が少ないために授業に遅刻してしまう児童や、定刻までの学校到着を目指して違法乗り合いタクシーに乗車して交通事故などトラブルに巻き込まれる児童、交通機関の運賃が捻出できないために学校を休んでしまう児童がいます。

このプロジェクトで67,515米ドルが供与されることにより、同校は通学バスを整備することができます。通学バスを導入することで、全ての児童が安全に毎日学校に通学できるようになります。また、現在は費用の問題で課外授業の参加を諦めている児童も、本校所有のバス使用により交通費の負担が軽減されることで、今後は課外活動への参加が可能になります。通学バス導入の結果、児童間で生じている教育機会の不平等の是正が期待されています。

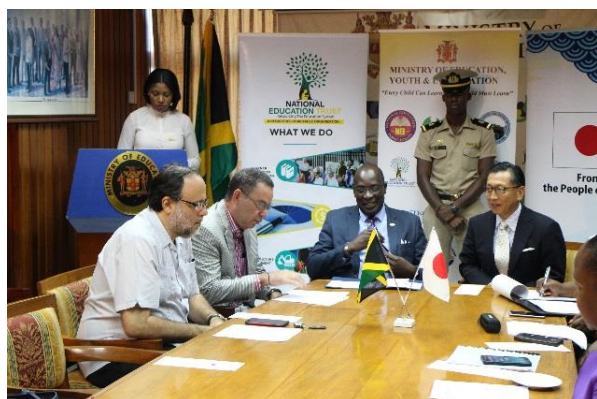
1977年にキングストン市アネット・ガーデン地区に設立されたアイリス・ゲリー公立小学校では、雨水の排出、貯蔵、供給設備の未整備が児童の健康と学習に悪影響を及ぼしています。雨水排水設備が未設置のため雨天後は校庭に大きな水溜りができる同校では、水溜りで繁殖する蚊が原因となり、児童がジカ熱やチクングニア熱といった蚊を媒介とする伝染病に感染してしまうことがあります。2014年9月半ばから11月初旬の間に約1000名の全校児童のうち280名の児童が感染症にかかり、自宅安静を余儀なくされました。水の貯蔵・供給設備が未整備のために水不足に陥り、飲用水や昼食を児童に供給できないこともあります。2015年10月には水不足が原因で1ヶ月間学校の終了時間を早めていました。

このプロジェクトで18,601米ドルが供与されることにより、同校は雨水排水、貯蔵、供給を行う設備を整備することができます。同校の衛生環境の改善によって、同校児童は健康に、より良い教育環境で学習に励むことが可能になるでしょう。

当日の署名式へは、ルエル・リード教育・青年・情報大臣、バフ・ベイ地区選出議員のダリル・バス国土、環境、気候変動、投資担当無所任大臣、アネット・ガーデン地区選出議員のマーク・ゴールディング議員（前法務大臣）、デンロイ・ベルナード教育・青年・情報省次官を始めとする教育省・国家教育基金関係者、トヨタジャマイカ社、報道機関など約20名が出席しました。

リード教育・青年・情報大臣は、日本政府による山間部の通学バスシステムの整備に貢献するバフ・ベイ公立小学校への援助と、児童と教員の教育環境を、衛生環境の改善によって向上させるアイリス・ゲリー公立小学校への援助に対して感謝の意を述べました。

山崎大使は、バフ・ベイ公立小学校での通学バス整備計画とアイリス・ゲリー公立小学校での雨水供給設備整備計画に支援できることの喜びとともに、これらの計画が、児童と教員のニーズに役に立つことへの期待を表しました。また、今後もジャマイカの発展のために、ジャマイカ政府と協力していきたいと述べました。



ハリス国家教育基金（NET）支援者・パートナーシップ管理部門長による挨拶



カール・コーク バフ・ベイ公立小学校校長による開式のスピーチ



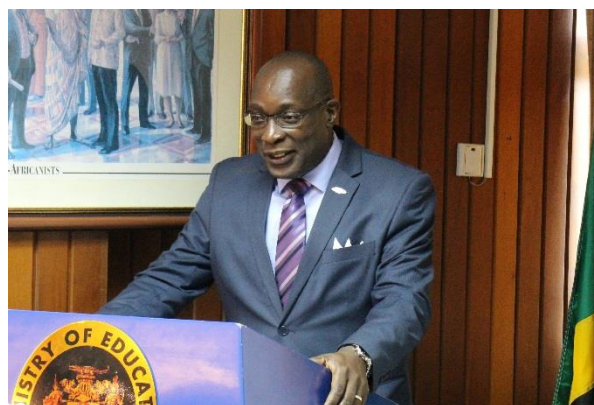
援助に感謝の意を述べるヴェロニカ・ゲイナー アイリス・ゲリー公立小学校校長



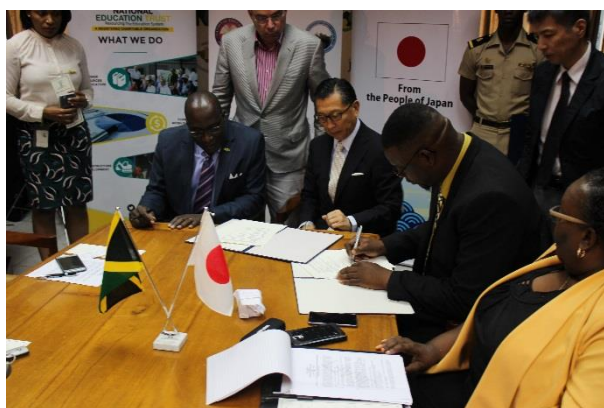
水をテーマにした詩を披露するアイリス・ゲリー公立小学校の児童



山崎大使によるスピーチ



リード教育・青年・情報大臣



バズ無所任大臣の立会いのもと贈与契約書に署名するコーク校長、山崎大使、リード大臣



左から NET ハリス部門長、トヨタ・ジャマイカ社トーマス販売部長、リード大臣、バズ大臣、コーク校長、山崎大使



ゴールディング議員と児童立会いのもと贈与契約書の交換をするリード大臣、山崎大使、ゲイナー校長



(後列) 左から NET ハリス部門長、ゴールディング議員、リード大臣、山崎大使、ゲイナー校長 (前列) アイリス・ゲリー公立小学校児童